

ランドスケープマネジメント特論 (2単位)

担当者氏名 金子忠一

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

ランドスケープマネジメントは、資源性、経済性、地域性等をふまえた、ランドスケープ空間の利活用、行政・市民・企業の協働、施設運営や地域づくりの評価システムの構築など、植物や施設のメンテナンスから、トータルエリアマネジメントへと展開している。造園空間や地域におけるマネジメントの実例を通してランドスケープマネジメントの実践にかかわり知識と技術について修得する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

マネジメント	パブリックスペース	公共サービス	市民協働
パークマネジメント	メンテナンス	プログラム開発	指定管理者制度

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	LAマネジメント基礎理論1	ランドスケープ (LA) マネジメントとは	講義に関連する演習課題の作成もあるため、教科書を十分に活用して、予習・復習に励むとこと。 また講義中に紹介した関連する造園空間・施設の現状や関連情報の収集に努め、理解力の深化を心がけること
2	LAマネジメント基礎理論2	LA マネジメント運営論	
3	LAマネジメント基礎理論3	公共サービスとマーケティング	
4	LAマネジメント基礎理論3	プログラム開発の実例	
5	パークマネジメント論 1	パークマネジメントの現状	
6	パークマネジメント論 2	パークマネジメントの事例	
7	パークマネジメント論 3	指定管理者制度	
8	パークマネジメント論 4	マネジメントシステムのあり方	
9	パークマネジメント論 5	マネジメントプランの構築	
10	パークマネジメント論 6	マネジメント評価	
11	パークマネジメント論 7	パークマネジメントの課題	
12	まちづくりとコモンズ論 1	まちづくりとコモンズ論との関係	
13	まちづくりとコモンズ論 2	市民参加のあり方	
14	まちづくりとコモンズ論 3	地域連携の実例	
15	まちづくりとコモンズ論 4	これからのまちづくりとコモンズ論のあり方	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

パークマネジメント/金子忠一他/学芸出版社

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

小テスト(20%)、演習課題 (30%)、レポート課題 (50%) として評価する

◆オフィスアワー

毎週水曜日 10:40~12:00、11号館5階の研究室にて

◆その他受講上の注意事項